

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
〒467-8602 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1	
所在地	
地下鉄：桜山駅下車 3 番出口 直結	
交通案内	市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は 800 床の病床、32 の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。また、令和 3 年には東部・西部医療センター、令和 5 年にはみどり市民・みらい光生病院、令和 7 年にはリハビリテーション病院が名古屋市立大学の医学部附属病院になり、全国最大規模の大学病院群となりました。令和 8 年度には救急災害医療センターの開棟を予定しており、より一層進化を続けております。

□ 研修プログラムの特徴

2 年間の名古屋市立大学病院で数多くの多種類の手術を経験すると同時に学会発表・論文作成など学術的側面を研修します。また、市外研修施設（地域医療）の 1 年間では地域に密着した医療を行うと同時にゆっくりと自分の手技を見つめ直し技術向上を目指します。さらに、市内研修施設の 1 年間では自分で責任をもってできる手術を増やすと同時に各科やコメディカルスタッフとの連携を深めます。

<研修モデル>

専門研修 1 年目：名古屋市立大学病院形成外科（1 年）



専門研修 2 年目：岡崎市民病院形成外科（1 年）地域医療研修



専門研修 3 年目：あいち小児センター形成外科（1 年）あるいは愛知県がんセンター形成外科（1 年）



専門研修 4 年目：名古屋市立大学病院形成外科（1 年）

詳細は名古屋市立大学形成外科のホームページをご参照ください。

<http://ncu-keisei.umin.jp/>



※名古屋市立大学病院総合研修センターHP もご参照ください。

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、愛知県がんセンター、あいち小児センター、大垣市民病院、岡崎市民病院、岐阜県立多治見病院、小牧市民病院、市立四日市病院、中部ろうさい病院、豊田厚生病院、名古屋赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院、岐阜県総合医療センター、鳥取大学医学部附属病院、名古屋赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

□ メッセージ

形成外科 部長 鳥山和宏

形成外科の知識と技術と観察眼で質の高い医療を展開しましょう！

形成外科は新しい分野で、創傷や組織の血行動態の知識、マイクロサージャリーや再生医療などを応用した技術、（欠損）創や手術結果を正確にみつめる観察眼を通じて、精度の高い手術で質の高い医療を追求・展開しましょう。



□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせ人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	357,900 円～436,200 円	（勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる）
・当直回数／月	4 回程度	（診療科により異なる）
・当直料／回	24,000 円～34,000 円	
・その他	年間有給休暇 20 日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者	管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当
	電話番号	052-858-7527
	E メール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp